

経営比較分析表（令和4年度決算）

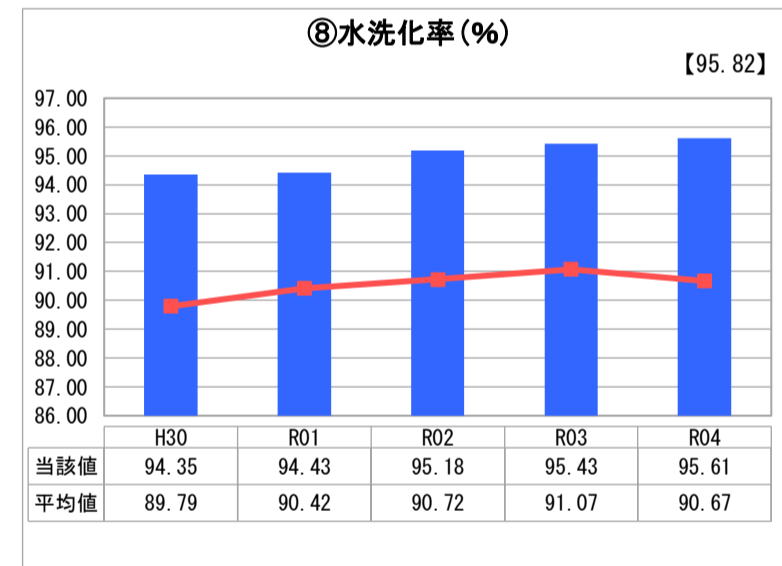
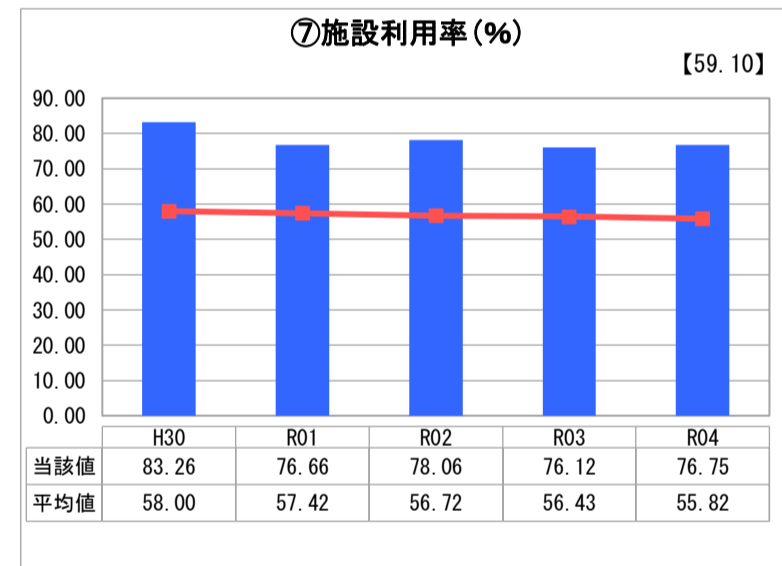
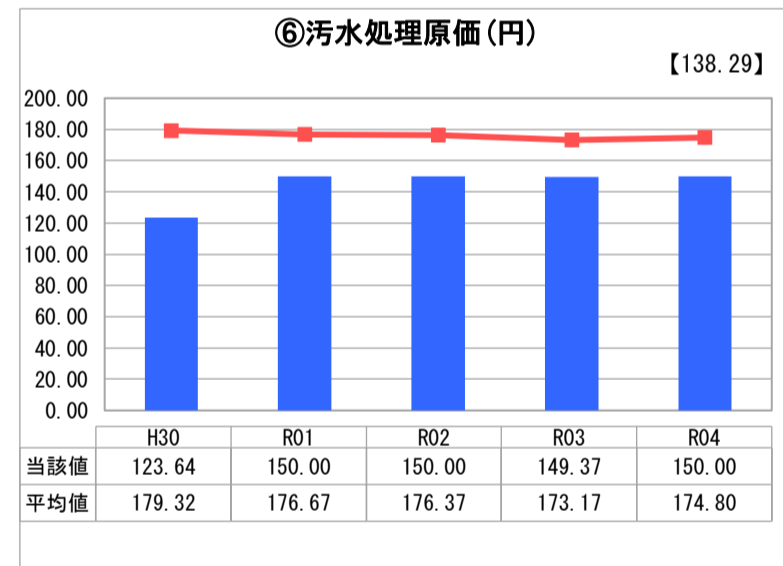
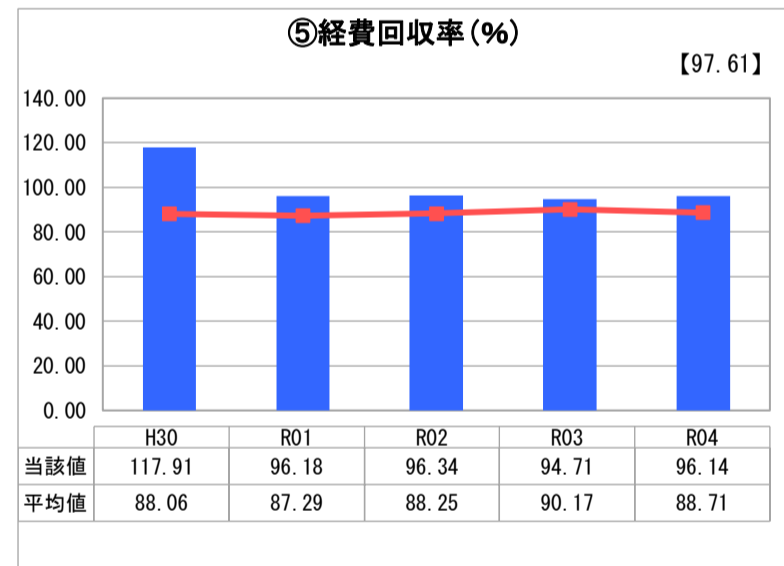
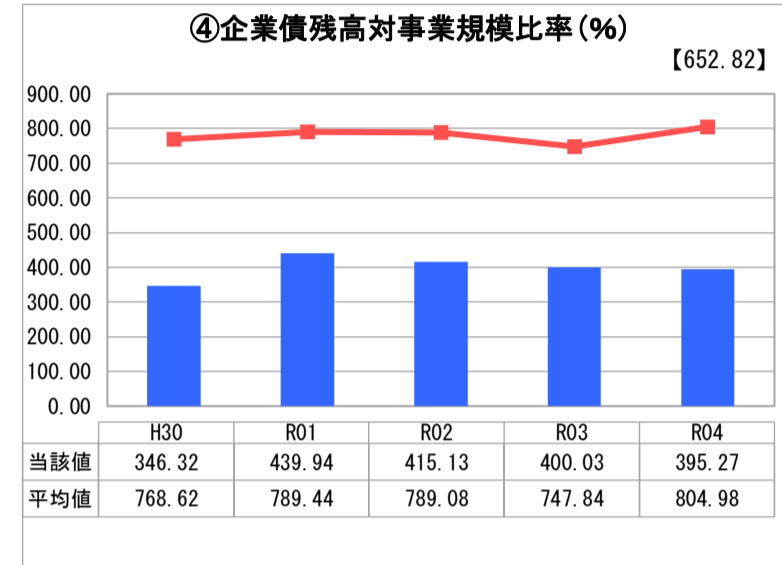
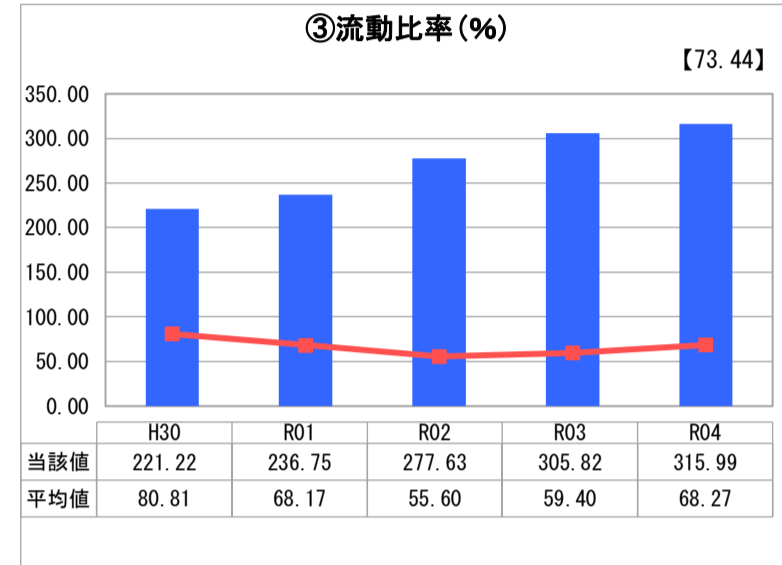
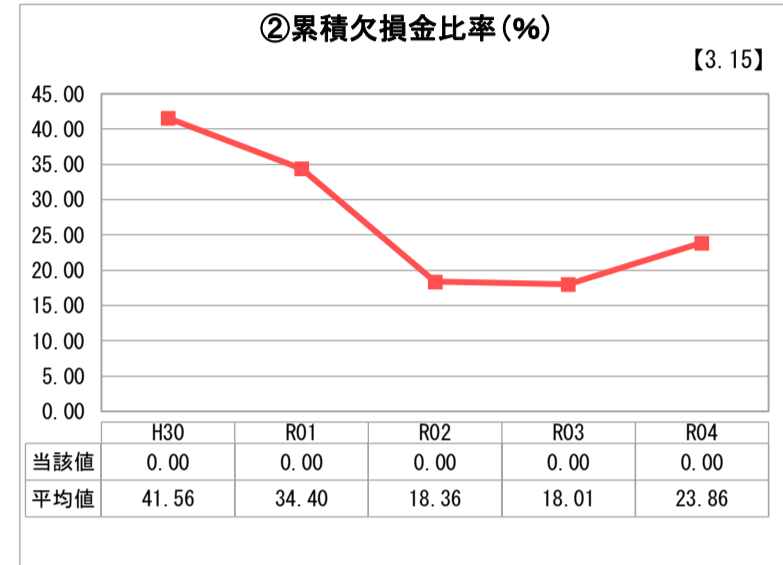
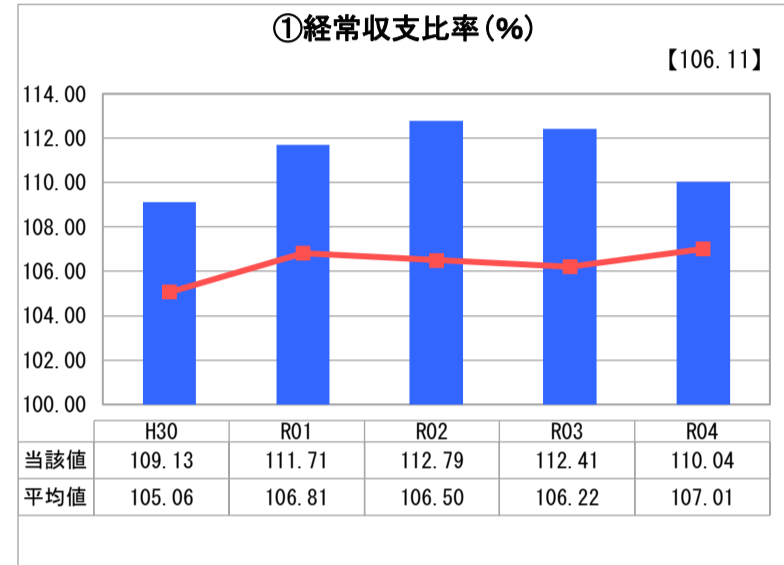
熊本県 宇土市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cc1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	66.95	76.95	77.24	3,050

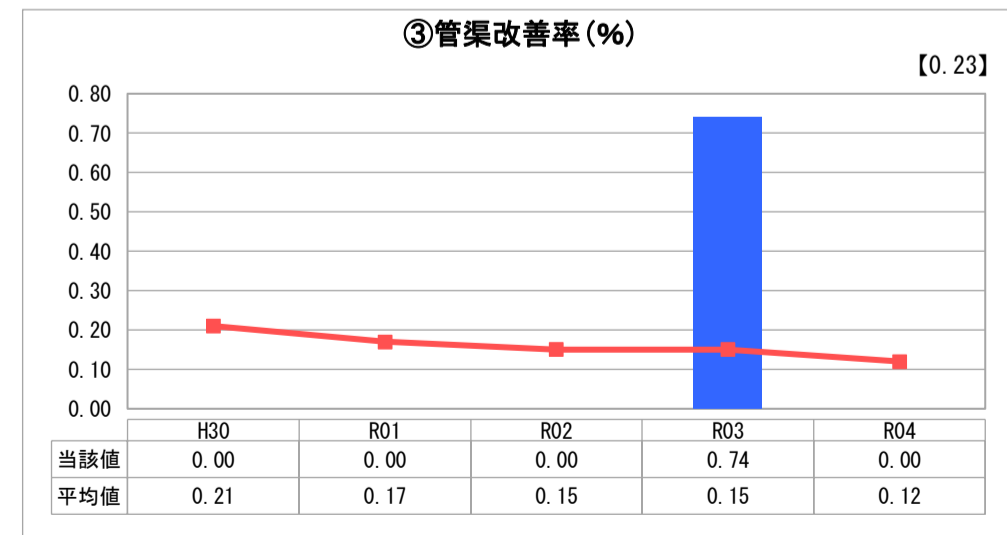
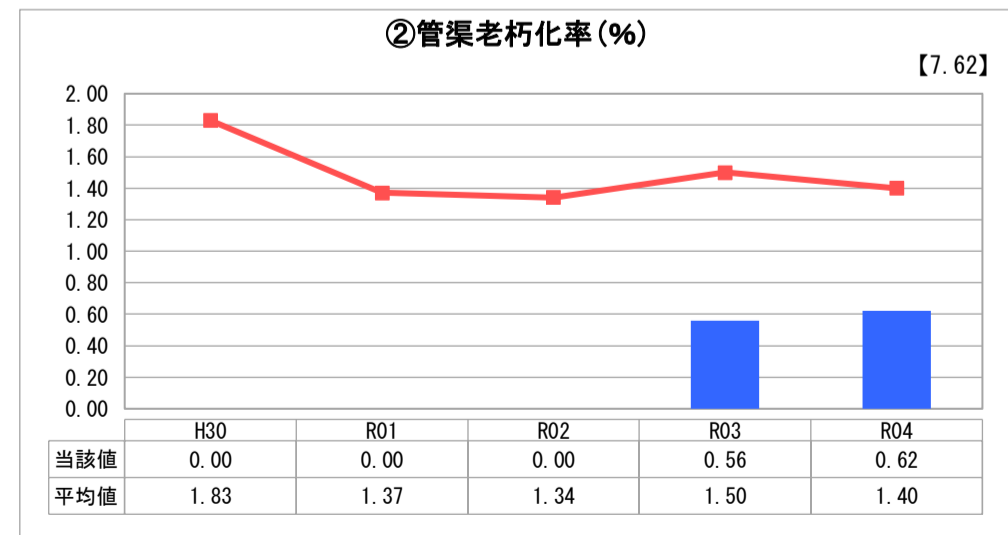
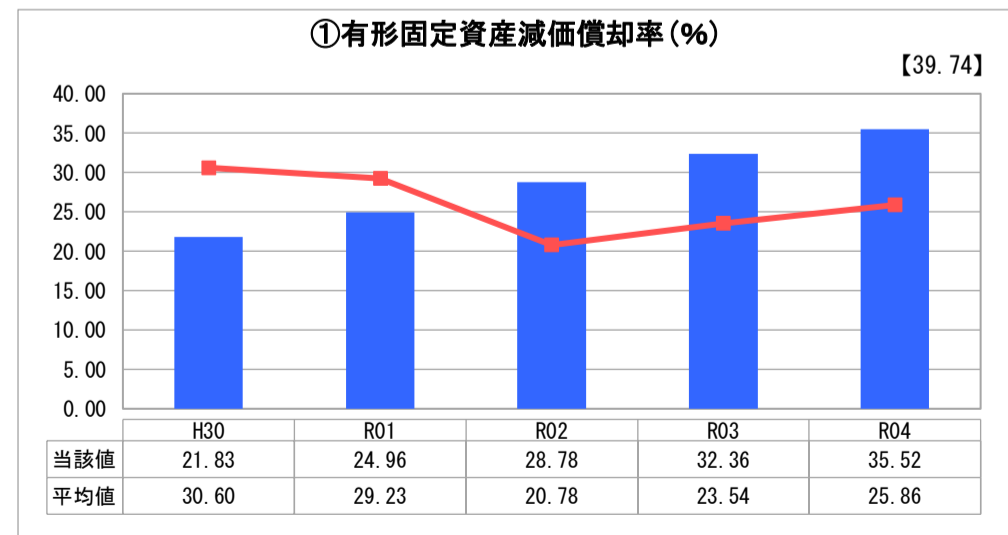
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
36,483	74.30	491.02
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
28,060	8.02	3,498.75

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①②経常収支比率は100%を上回っており、累積欠損金もないことから、健全な経営を維持しているが、今後、老朽化が進み維持管理費等増加傾向にあることから、使用料の見直し等検討していく。
 ③流動比率は315.99%で類似団体よりも非常に高い水準であり、現金は十分に確保されており、現状維持ができるよう健全経営に努めていく。
 ④企業債残高対事業規模比率は、類似団体より低い数値となっており、今後もこの状態を維持できるよう投資規模、料金水準とのバランスを留意していく。
 ⑤経費回収率は100%を下回っているが、類似団体と同程度の水準である。今後も健全運営を行うために経費削減に努めていく。
 ⑥汚水処理原価は類似団体より低い水準である。今後、施設の老朽化に伴い修繕費等が増加する見込みであるため、更新工事を行いながら維持管理費の減少に努めていく。
 ⑦⑧施設利用率、水洗化率とも類似団体より高い水準であるが、後は人口減少に伴い低下することが見込まれるため、広域化等を検討していく必要がある。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率は、年々増加している。今後、更新時期を迎える管渠や施設があり、建設改良費における積立金等を増加するよう努めたい。
 ②管渠老朽化率について、法定耐用年数を超えた管渠を計上しているが、類似団体と比較しても数値は低い状況である。また、管渠調査を行い、必要に応じて管渠更新工事を行っている。
 ③管渠改善率は0%であり、後は、ストックマネジメント計画に基づいて計画的かつ効率的に進めていく。令和3年度決算の数値は誤り(0%が正解)

全体総括

本市は、類似団体と比較しても経営の健全性は確保しているといえるが、一般会計繰入金など使用料以外の収入で賄っている経営状況である。一般会計に頼らない経営を目指すため、引き続き経費削減、収益上昇に努めていく。また、包括的な民間委託や広域連携など経営手法を検討し、効率的に事業を進めていく。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。